

港中だより

伊勢市立港中学校 No.24

R3. 1. 15

校長 金森 晃生

新年あけましておめでとうございます 今年もよろしくお願いいたします

1月10日（日）に伊勢市の「新成人の集い」が開催され、私は中学校の校長として招待され出席しました。新型コロナウイルス感染症拡大の中、今年の「新成人の集い」は、新成人を出身中学校別に3部に分け、密を避けての開催でした。集いの中で、実行委員の方からも、会話を控えることなど、会場での感染症対策について注意と協力の呼びかけがありました。集いが始まると、新成人の誓いの言葉や市長のあいさつ、各中学校の思い出のスライドなど予定通りに進みましたが、その間、私語は私には全く聞こえませんでした。そして、集いが終わると、新成人は静かに会場から退場していきました。私は伊勢の若者はなんとすばらしい新成人なのだろう、と感心しました。そして、「新成人の門出を市として祝福する」ことを最優先にして、新しい形の「新成人の集い」の開催に至るまでの多くの方の努力に頭が下がる思い、と同時に、その努力に報いるように、自分の命も他の人の命も守る行動をとって、安全な「新成人の集い」を作り上げた新成人を素晴らしいと思います。きっと、この経験はこれからの社会を支えてくれる力になるのだろうと頼もしく思いました。

私たちは何かあると、過去と比較します。と言うより、未来はわからないので、過去と比較するしかないのです。今も、新型コロナウイルスの感染はどんどん増え、三重県でも緊急警戒宣言が発令されました。このような収束が見えない状況で、どうすればいいのか。私は経験値を高め、想像力を働かせることが大切だと思います。人は経験でしか語れないと言われます。過去と比較するのも、経験したことを判断の基準にして、決めているのです。でも、1日は24時間。実体験をする時間は限られます。その代わり、読書や、様々なメディアからの情報、人の話を聞くなどの疑似体験が、自分の経験値を高めてくれます。そして、想像力をもって、様々な角度から物事を考えることで、具体的にイメージしたり、行動できたりするのだと思うのです。

このことは学校生活にも当てはまると思います。自分のことは顧みず誰かのせいにして、SNSなどで人を誹謗中傷したり、他の人のことを考えずに行動したりすることなども同じです。情報を活用したり、教科の学習や読書で知識を得たり、人の話を聞いたりして経験値を高めるとともに、「今、目の前にあること」がどんなことにつながっているのかということを、様々な角度から想像し、「今、自分ができる最善のことは何か」を考え、困難を乗り越える行動につなげていってほしいと思います。

今年の「新成人の集い」は、これまで講じられた感染予防策（つまり過去の事例や、明らかになっている予防策といった経験値）を参考に、リスクを想定（いわゆる想像）して開催されたのだと思います。ただ、開催する側の努力だけでは、命を守る「新成人の集い」にならなかったでしょう。出席する新成人の知識（感染拡大の情報、開催に向けて多くの方が努力してくれていることなどの情報を得た経験値）と当事者意識（多くの方が自分の成人を祝ってくれていることや、命を守るためにどんな行動をするかという想像）があったからこそ、感染拡大の中で開催で

きる最も安全な「新成人の集い」の成功につながったのだと思います。中学生のみなさんも、すぐに成人となります。中学生の今、できるだけ経験値を高め、想像力を働かせて、様々な力をつけ、周りとの力（心）を合わせて、未来の社会をたくましく生き抜いてほしいと思います。

そしてみなさんにもう1つ。開催が危ぶまれましたが、今年も1月2日・3日には箱根駅伝がありました。私はみんなが1本の襷をつなぎ、選手だけでなく、多くの人がサポートし、日々の努力の積み重ねがこの日に集大成として表れる駅伝を観ることが好きです。今年も「目標達成のためにあきらめず継続する気持ち」が一番大切だと感じました。このことは駅伝だけではなく、人の生き方すべてに共通していると思います。まず、やってみる事です。そして続けることです。時に挫折することもあります。でも、継続してください。こんな時だからこそ、自分のいいところ、強みを大切に、ポジティブに考え行動してください。そうすれば、きっとみなさんの未来は開け、目標達成に一步步近づけるはず。3年生は義務教育修了まで、中学校を卒業するまであとわずかです。これからはそれぞれが進路選択をし、人生の目標に向けて新たに旅立つ時を迎えます。今できることを、焦らず、自信を持って、粘り強く取り組んでください。1、2年生のみなさんも目標を持って、1日1日を大切に生活してください。

今年は世界中が感染症に打ち勝ち、思いやりの心を持って、人との距離は離れても（ソーシャルディスタンス）心は密にし、健康で安心して笑顔あふれる毎日が送れることを願っています。

長くなりましたが、年の初めにみなさんに私の思いを伝えました。みなさんが少しでも意識して、実行してくれることを望んでいます。みなさんのさらなる活躍を期待しています。



きぼう=自由を展示しました

文化祭で文字職人の杉浦さんに書いていただいた作品を展示し

ました。もっと早く展示したかったのですが、作品がたいへん立派で、大きかったため、どのように展示するか思案して遅くなりました。結果、雲花紙（うんかし）に貼って展示しました。業務員の大倉さんが、作品を雲花紙に貼り、生徒昇降口の下駄箱の上に展示していただきました。また、色紙にも同じ作品を書いていただきましたので、階段に額に入れて展示しています。保護者のみなさまも学校にお越しの際はぜひご覧ください。



18日から手洗いキャンペーン

先月もありましたが、感染症予防対策の一環として「手洗いキャンペーン」を保健委員会が実施しています。手洗いの徹底と、ハンカチを持っているかを調査し、みなさんの感染症予防対策の意識を高めてもらう取り組みです。一人ひとりができる予防です。ぜひ、意識して取り組んでください。



結果を保健室
前に掲示

～保護者のみなさまへ～

日頃は本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、また各ご家庭で検温、マスクの着用、ハンカチの持参等、感染症予防対策につきましても引き続きご協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。現在も感染症が拡大しています。感染症予防対策をしても、誰がどこで感染してもおかしくない状況です。学校でも引き続き、マスクの着用、換気、手洗いの徹底など取り組んでいきます。

また、先日「学校アンケート」にご協力いただきありがとうございます。みなさまのご意見を真摯に受け止めさせていただき、今後の学校経営に生かしたいと思っています。後日、内容を集約し、港中だよりで報告させていただきます。これからもよろしくお願いいたします。